

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年7月18日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科ドイツ文学専攻
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年7月9日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ウィーン大学(日本語名) Universität Wien(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/英語
留学期間	2024年9月～2025年7月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 国際経営学部 現地言語での名称: Internationale Betriebswirtschaft <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 10/1～1/31 2 学期: 3/1～6/30 3 学期: 4 学期:
学生数	85000人
創立年	1365年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 160 円)	B 日本円	備考
授業料	489,40	円	ドイツ語講座
宿舍費	7200	円	
食費	3000	円	
図書費	25	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	99,90	円	
現地交通費	150	円	Semester チケット (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	800	円	ヴァイオリンレッスン、コンサート、オペラ鑑賞、美術館
旅費(留学中)	5,000	円	10 カ国
被服費	110	円	
医療費	0	0 円	
保険費	677,47	56,350 円	形態: öGK と明治大学の保険
渡航旅費		460,000 円	
ビザ申請費	188,60	円	
雑費	300	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	18,040.37 (=160 円)	516,350 円	
総計(A+B) ※円		3,402,809 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地：羽田空港 目的地：ウィーン国際空港 経由地：ミュンヘン国際空港	
復路 出発地：ウィーン国際空港 目的地：羽田空港 経由地：なし	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：ANA、ルフハンザ 料金：約 28 万 復路 航空会社：ANA 料金：約 18 万 ∴合計：約 46 万	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名： ANA、ルフハンザ公式サイト)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： OEAD student housing) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
ウィーン大学が提携している学生寮一覧を確認することができるウェブサイトから各々の会社のサイトを調べました。その際に個室、シャワー、キッチンがついている部屋に絞って探し、OEAD student housing に辿り着きました。	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
Westbahnhof 駅から徒歩 5 分の OEAD student housing Gsgasse2 という寮に滞在しました。Westbahnhof 駅は地下鉄が 2 路線と tram 6 路線、さらにザルツブルクやミュンヘン行きの特急も通っており、大学やウィーンの中心部までも 15-20 分でアクセスも出来る大変便の良い駅でした。寮はターミナル駅の近くではありましたが、静かで落ち着いて過ごせる環境であり、夜間も比較的安全だと感じました。しかし、寮の中で友人を作りたい、イベントに参加して交流の機会が欲しいという方にはお勧めではありません。コモンルームが一つしかなく、交流できる機会や友人を作る機会はほとんどありませんでした。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: ウィーン総合病院、PVE Wien West)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在日オーストリア大使館からのメールを定期的に確認するようにしていました。盗難に巻き込まれたことはありません。しかし、普段からチャックがついたカバンを持つことを心がけていました。ウィーンは他のヨーロッパ諸国に比べて比較的治安が良いので特に対策は行っていませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の WIFI 環境や速度は問題ありませんでした。しかし、週 2 回くらいフリーズする時がありました。すぐ直るのでそこまで気にする必要はないです。モバイルデータ通信は完璧でした。速度も早く、容量が大きいので毎月分の容量を全部使い切ることはありませんでした。値段もお手頃です。詳細は近況報告書 2 を参照してください。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地銀行で口座開設後、日本から 12000 ユーロを送金してもらいました。銀行カードの他に、WISE というデビットカードを使用していました。WISE は日本からの送金手数料が低い上に送金が早く、またユーロが使えない国へ旅行する際にも大変便利でした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

ポカリスウェットの粉と冷えピタを持参することを強くお勧めします。インフルエンザにかかった際に大変役立ちました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
42 ECTS 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 現在申請中です単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
PS BAK7: Introduction to International Organizations		国際機関についての基礎的な授業
科目設置学部・研究科	Politikwissenschaft	
履修期間	10/16-1/29	
単位数	6 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	PS(ゼミ)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Arne Langlet	
授業内容	国際連合や欧州連合をはじめとする国際機関の構造や機能、そして国際政治に与える影響について学びました。制度的な特徴や歴史的背景を理解するとともに、国際社会における課題とその解決に向けた取り組みを多角的に考える内容でした。	
試験・課題等	授業では、まず自分で政治問題の一つを選び、既存の政策提言や国際機関の報告書を参考にデータ収集を行い、独自の政策提言を作成する課題がありました。その後、提言内容を研究報告書としてまとめ、クラス内でのプレゼンテーションも実施しました。課題はいずれも分量が多く、分析力と表現力が求められる内容でした。最後に、最終レポートがあり 3000 字でまとめました。	
感想を自由記入	一つ一つの課題の難易度が高く大変でしたが、VIC(Vienna International Centre)で実際に働いている職員が取り組んでいる課題についての講義を聞くことができたため、唯一無二な経験でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
UE Business English I	ビジネス英語 I
科目設置学部・研究科	Internationale Betriebswirtschaft
履修期間	10/1-1/28
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	UE(講義+ディスカッション)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Katja Ewa Lang
授業内容	ビジネスで使う英単語、ビジネスメールの書き方について
試験・課題等	中間試験ではビジネス単語の定義や正誤問題を中心とした選択式テストがありました。授業内のテストでは文法やリスニング、語彙理解を確認し、期末試験ではビジネステキストの読解と150~180語程度のメール作成を行いました。
感想を自由記入	ビジネスの現場で必ず必要になるメールの書き方を学べたことは、将来に直結する大きな学びとなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
VO ABWL Marketing I	マーケティング I
科目設置学部・研究科	Internationale Betriebswirtschaft
履修期間	10/2-1/22
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	VO(講義)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Katharina Auer-Zotlöterer
授業内容	マーケティングの基礎的な理論や主要な概念を学ぶ授業でした。特に市場調査や消費者行動、マーケティング戦略の基本的な枠組みを学びました。
試験・課題等	選択式問題が50問
感想を自由記入	授業はドイツ語で行われたため理解が難しかったですが、英語の教科書を繰り返し読み込むことで乗り越えることができました。大変ではありましたが、語学力と専門知識の両方を同時に伸ばせたと感じています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
UE Integrated Language and Study Skills I	総合語学・学習スキル
科目設置学部・研究科	Anglistik
履修期間	10/7-1/30
単位数	5 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	UE(講義+プレゼンテーション)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Elisabeth Müller-Lipold
授業内容	C1~C2レベルのアカデミックライティングを中心に、エッセイの構成や語彙の効果的な学び方を実践的に学びました。授業内では二人一組でプレゼンテーションを行い、自分たちのグループでは「音楽を通じた語彙習得」というテーマを扱いました。
試験・課題等	課題:毎週300字のエッセイ(任意)、Vocabulary Log(学期中に新たに学んだ語彙をマインドマップなど様々な方法でまとめる) 試験:mid-term、final examで決められたトピックについてエッセイを300字程度で書く、リーディングを時間内で解く(どちらもIELTSと同じ)
感想を自由記入	ライティングスキルを重点的に鍛えられた授業であり、特にエッセイ構成の力が向上しました。IELTSに近い形式の課題で練習できた点も、自分の学習にとって非常に有益でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
September-intensivkurs Deutsch am Campus	9月集中ドイツ語講座
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum
履修期間	9/4-9/20
単位数	4 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式・少人数制(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に225分が5回
担当教授	Barbara Szobek
授業内容	留学開始前に行われた集中ドイツ語講座で、リーディングやリスニングを中心に4技能を学びました。グループワークも取り入れられ、日常的なトピックについて少人数で議論する機会もありました。
試験・課題等	4技能(リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング)、全て60%以上で合格
感想を自由記入	普段日本ではなかなか機会が少ないスピーキングやライティングを集中的に練習できたことが有意義でした。日常会話の基礎を固める登竜門のような内容で、留学生活の良いスタートとなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
VO BAK12: Introduction to Sexuality, Gender, Power, Politics	セクシュアリティ・ジェンダー・権力・政治入門
科目設置学部・研究科	Politikwissenschaft
履修期間	3/19-6/25
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	VO(講義)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Dorit Geva
授業内容	ジェンダー(LGBTQ、歴史など)について
試験・課題等	90分で論述4題(スライドに基づいて)
感想を自由記入	専門用語や歴史的な事例を学ぶのは難しかったですが、幅広い視点からジェンダー問題を理解する良い機会となりました。試験中にシステム不具合があり焦りましたが、何とか乗り越えられた経験も印象に残っています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
VO Global History	グローバル・ヒストリー
科目設置学部・研究科	Geschichte
履修期間	3/3-6/30
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	VO(講義)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Christian De Vito
授業内容	世界史そのものではなく、グローバルヒストリーの哲学的側面を取り上げた授業でした。特に歴史研究の方法論やマイクロヒストリーの意義について学びました。
試験・課題等	90分で論述3題
感想を自由記入	想像していた内容とは異なり哲学的な議論が多かったため理解が難しかったですが、特にマイクロヒストリーの考え方は新鮮で面白く感じました。挑戦的な授業でしたが、自分の思考の幅を広げるきっかけになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
UK Principles of International Business	国際経営の原理
科目設置学部・研究科	Internationale Betriebswirtschaft
履修期間	3/6-6/12
単位数	4ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	UK(講義+演習)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Giulia Galizzi
授業内容	国際経営の基礎について(用語やケーススタディなど)
試験・課題等	中間試験では用語理解を問う選択式問題があり、期末試験では新しいケーススタディを読み、設問に沿って論述する形式でした。暗記ではなく思考力を重視した試験でした。
感想を自由記入	国際経営を初めて学ぶ人にはぴったりのクラスだと思いました。VO Strategy (BA)とセットで取るのがおすすめです。理解が深まり、基礎から応用への橋渡しになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
VO Strategy (BA)	経営戦略
科目設置学部・研究科	Internationale Betriebswirtschaft
履修期間	5/5-6/12
単位数	4ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	VO(講義)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に195分が4回
担当教授	Karim Julian Gharbi
授業内容	経営戦略について(流通経路、グローバル戦略など)
試験・課題等	45分で50題の選択式問題、主に授業で扱ったスライドから出題された
感想を自由記入	教授の説明が分かりやすく、学びやすい授業でした。学習量は多かったものの、日々の復習を重ねることで理解が深まりました。最後の授業で各国のお菓子を持ち寄る交流会があり、日本のおかきを紹介できたのも良い思い出です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
KU The Austrian Legal System- an overview	オーストリア法制度概論
科目設置学部・研究科	Rechtswissenschaften(法律学科)
履修期間	3/10-6/23
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	KU(講義)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Verena Haas
授業内容	オーストリアの政治、法律、歴史について
試験・課題等	2回テストがあり、両方ともスライドに基づいて出題される。30分30題で選択式
感想を自由記入	オーストリアについて幅広く知るのに良い機会になりました。見たことのない法律用語が多かったので、理解するのに時間を要しました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	9月:IELTS 受験
	10月～12月	11月初旬:出願締め切り、12月:選考、選考突破
留学開始年	1月～3月	学部選び、住居探し
	4月～7月	入学許可の通知、航空券購入、ビザに必要な書類の準備
	8月～9月	8月終わり:渡航
	10月～12月	秋学期開始
留学/帰国年	1月～3月	1月:期末テスト、3月:春学期開始
	4月～7月	7月初旬:帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

10 か月間の留学を振り返り、ウィーン大学に留学できたことを本当に良かったと心から感じています。ここでは、なぜ私がウィーン大学を第一志望にしたのか、ウィーンでの留学生生活で得られたこと、そしてこれから留学を考えている方へのアドバイスを伝えたいと思います。

1. ウィーン大学、ウィーンを選んだ理由

日常的にドイツ語を使える環境に身を置きたいと考え、大学の授業や友人との交流では英語を中心に使い、スーパーやレストラン、街中ではドイツ語を使う生活を送りたいと考えていました。英語とドイツ語を両方使える環境は、自分にとって大きな学びになると思ったからです。

さらに、ウィーン大学は自分が調べた協定校の中でも唯一国際経営学科があったこと、国際経営学だけでなく、ジェンダーや国際政治など幅広い学問を学べる大学だからです。その中でも、国際経営学を学びたいという強い思いがありました。グローバルに広がる多様な状況に応用できる学問だと感じ、その可能性に強く惹かれました。実際に、ウィーン大学では非常に優秀で意欲的な学生と出会うことができ、刺激を受けました。

また、ウィーンは国際的な都市であり、他のヨーロッパ諸国への旅行もしやすく、多文化に触れるには理想的な環境で、飛行機や電車で 2~4 時間ほどで多くの国に行けるのは大きな魅力でした。そして、ウィーンは音楽の都として知られており、幼少期から憧れていた街でもありました。趣味でヴァイオリンを弾いているため、ウィーンで音楽に触れることは一つの夢の実現でもありました。

2. ウィーンへ留学して良かった点

第一に、治安の良さと利便性の高さです。ヨーロッパの大都市の中には治安に不安を感じる地域もありますが、ウィーンは世界的にも安全な都市とされており、日常生活で不安を感じることはほとんどありませんでした。特に公共交通機関を夜間に利用する際も安心して行動できる点は、生活を送る上で大きな安心感につながりました。

第二に、ウィーン大学の日本語学科の学生と交流できたことです。交流会やタンデム会を通じて、英語、ドイツ語、日本語を使いながら意見交換をすることができたことは大変貴重な経験でした。オーストリアならではの文化やスラングも学べ、日本語を教える際には、普段何気なく使っている日本語の奥深さに気づくことができました。

第三に、芸術や文化を身近に触れられることです。ウィーンにはコンサートホール、劇場、美術館、博物館などが数多くあり、一部学生料金で鑑賞できました。世界的に有名な作品や公演を日常の中で楽しめることは、ウィーンならではの特権だと思います。

最後に、都市でありながら自然を身近に感じられる環境があったことです。Stadtpark や Burggarten など大きな公園があり、春や夏には芝生で友人とピクニックをしたり、読書をしてリラックスをすることができました。少し足を伸ばして、ドナウ川沿いでバーベキューや郊外でのハイキング、ワイナリー巡りを通して季節を感じることができました。勉強とリフレッシュを両立できる点は大きな魅力でした。

3. アドバイス

語学面では、英語のスピーキングを事前にできるだけ練習しておくことをおすすめします。私は留学直前の学期に国際経営を英語で学ぶ授業を履修したり、交換留学生と積極的に交流して会話の機会を作りましたが、それでも現地のディスカッションでは言葉に詰まることがありました。スピーキングは練習すればするほど安心につながると思います。

また、ドイツ語は最低限の表現を覚えておくことで生活が格段にスムーズになります。挨拶や買い物、レストランでの注文など、簡単なフレーズだけでも知っておくと安心です。私がよく使っていた表現の一部を挙げます。

-Grüß Gott(こんにちは)

-Danke schön(ありがとうございます)

-Tschüss(またね)

-Entschuldigung(すみません)

-Zahlen bitte(お会計をお願いします)

-Mit Karte bitte(カードをお願いします)

心構えとして、留学生生活は挑戦の連続であると意識することが大切です。授業、国際交流、生活環境のすべてが新しい挑戦ですが、勇気を出して一歩踏み出すことで新しい視野や出会いが広がります。最初の 1 か月は特に慣れずに不安を感じるかもしれませんが、そこを乗り越えれば楽しさがどんどん増していきます。困ったときには一人で抱え込まず、大学の国際事務室や友人に相談することをおすすめします。

4. 最後に

留学は困難も伴いますが、それ以上に成長と喜びをもたらしてくれる経験です。準備や手続きに追われることもあるかと思いますが、その先には必ず充実した時間が待っています。留学を考えている皆さんが、それぞれの目標に向かって勇気を持って挑戦し、素晴らしい経験を積まれることを心から願っています。

何か質問等がありましたら、国際連携事務室を通して連絡ください。

最後になりましたが、このような貴重な経験の機会を与えてくださった大学と先生方に感謝申し上げます。